

成長経営に直結：二つのルル三条

1. 「ルール（規則）、ツール（方法）、ロール（役割）」

2. 「Will(想い)、Smile(笑顔、幸せ)、Skill(方法)

価値創造の知・第 52 夜 秘訣は『Smile』前編

投稿日: 2017 年 8 月 18 日

2017 年 8 月 17 日 価値創造の基礎「ルル三条」

前夜は、想い(Will)と方法(Skill)、そして主体性を綴りました。

この will と skill の二つを自分の内部(Inner)に、深く・高く・広く、蓄積して活用できることが新しい道を拓く基礎になります。

ただ、これだけでは残念ながら不十分で、ゴールにたどり着けません。これは必要条件です。

Will(ウィル)と Skill(スキル)の二つは手段であり、もう一つ、この二つのインナーの間(あいだ)をつなぐ目的となるアウター(Outer)が必要になります。これが合わさって、結合して必要十分条件になります。

さて、それはいったい何でしょうか？

それが、顧客・地域・社会のスマイル(Smile)です。「笑顔・幸せ・愛」です。想い(Will)には、笑顔(Smile)が必要であり、方法(Skill)にも笑顔(Smile)が不可欠です。想い(will)と方法(skill)はクルマの両輪です。

ウィル(Will)・スキル(Skill)・スマイル(Smile)の「3つのル」を併せて、「価値創造」基礎の「ルル 3 条」と呼びたいと思います。

さて、顧客・地域・社会のスマイル(Smile)が根底に流れていること、船でいえば錨にしていることが重要です。

それは、心(Mind)を使うことでもあります。心の使い方は、この価値創造の知シリーズで何回か記してきました。

複数の会社の研究所に出入りしてきましたが、そして、私が理工系出身なのでわかることなのですが、ともすれば、技術研究所や技術開発では手段(ツール)が全面に出ていて、「何のために」というおおもとの目的が曖昧であったり、忘れ去られていることが多いのが実情です。

そのことが、多くの技術・研究テーマが死の谷を越せない大きな理由の一つです。

参考ですが、研究所で「心」という言葉が理系参加メンバーに届きづらい時が

あります。その時は「意識 (Consciousness)」というワードを使い、置き換えることで解決することを経験してきました。

さてさて、「事業創生・地域創生」では、「価値創造」が中心となります。価値創造の要諦は、「マーケティング(心)」と「イノベーション(技)」が二つでありながら一つになることです。(第7夜、第39夜参照ください)

別々にやっても進展・成果は望めません。一人のなかで、或いはグループで二つを越境することでゴールの輪郭が見えてきます。

皆さん、どうしたら越境できるのかを考えてみてください。

添付の図は、想い・本気 (Will)、方法・本質 (Skill)、笑顔・幸せ (Smile)の三つを結合したものです。「ルル3条」

そして、追加の一枚は、昨夜の「丸善夜学セミナー」参加メンバーのスマイルです。

笑顔・幸せ (Smile)を目的としない、或はイメージできない「想い・本気 (Will)、方法・本質 (Skill)」は本物ではありません。

顧客・地域・社会の笑顔・幸せ (Smile)のイメージを深め・高め・広げること(イメージメント)がポイントです。

価値創造から「事業創生・地域創生・人財創生」へ